一般質問　町政を問う

緊急経済対策を問う

小池　信一郎　議員（自民）

町長　町独自のプレミアム付商品券を発行したい

質問　景気低迷が続く中で昨年秋、米国リーマンショックは未曾有の経済不況を招き、現在も回復の兆しは見えない。町では地元小規模企業の倒産を防止するため、昨年末から年明けにかけて、続けて緊急経済対策を講じた。

3月期決算を終えた今日、その効果はどうであったか。また、今後も景気後退は更に深刻化すると思われるが、今後の対策についてはどのように考えているかを問う。

町長　20年度、瑞穂町中小企業信用保証料補助制度を創設し、申請が237件、補助金額で1、541万円であった。その他、住宅改修等補助や中小企業振興資金融資斡旋制度など行ってきたが、実績を上げ、有効であった。

今後、商工会のプレミアム付商品券への支援や、国の臨時交付金を活用した町独自のプレミアム付商品券の発行なども行いたい。

また、国や都の動向を注視し、新たな補助制度の活用を積極的に取り組んでいく。

商工会のプレミアム付商品券販売当日の様子

こんな質問もありました

効果的な町内会の運営方法は。

町長　町が介入すべきではないが、できるだけの支援に努める。

自民＝自民クラブ
公明＝公明党
住民＝住民と自治の会
改革＝改革みずほの会
共産＝日本共産党
民主＝民主党

質問文は、質問者本人が200字以内で執筆した原文をそのまま掲載し、答弁は内容を要約して掲載しています。

石塚町長の選挙公約を問う

尾作　武夫　議員（自民）

町長　8つの公約実現に邁進する

質問　厳しい選挙戦で勝ち抜いた今回の町長選挙、公約として掲げた「笑顔のまち・瑞穂をめざして」「みなさんと一緒に夢のあるまちづくり」の分野・事柄は、非常に重要なことである。

住民が何に対して関心を持ち、何に対して不満なのか、またはまちづくりに対してどんな夢や希望を持っているのか、という視点について、町長の所見を伺いたい。

町長　自然との共存・生活環境の向上、都市基盤整備、子育て・高齢者への支援、保健・福祉・医療の充実、防災対策の強化、教育環境の整備、特色ある産業創出、コミュニティの振興など8つの公約実現に向け邁進する。

そこで、町民の関心や不満、あるいは夢や希望などを町民意識調査やまちづくり懇談会などで意見を聞き、有効な施策をまとめたい。

現在より、少しでもいい状態にして、次のリーダーに引き継ぎたい。

3期目の方針を述べる石塚町長

ジョギングコースの整備について

青山　晋　議員（公明）

教育長　安全管理に努めている

質問　町では、今年で33回目の伝統ある駅伝大会を開催した。今や、ジョギング等の愛好者は増加傾向にある。しかし、町の御伊勢山ジョギングコースは、コースとして適しておらず、利用者も少ない。そこで、以下の点と今後の整備について教育長の所見を伺う。

問①　起伏が激しくコース上に急な階段が数箇所あり危険と思うが。

教育長　13年には競技場西側のコーナーのスロープを階段に改修し、15年には東側階段部分に手すりを設置するなど安全管理に努めている。

手すりの付いたコース内の階段

問②　1周620mあるコース上のメートル標識が見にくいが。

教育長　見づらい個所は、早速、対応した。

問③　ジョギング愛好家が記録を取れるコースと思えないが。

教育長　ジョギングコースとして限定するのではなく、ウォーキングも兼ねたコースと考えている。したがって、個人個人のペース配分の記録については、特に考慮はしていない。

こんな質問もありました

地域活性化・経済危機対策の推進を。

町長　福祉バス導入およびプレミアム付商品券の事業化などを予定。